

木の芽のことも

木の芽のことも そのかをりも  
寝床の中まではついて来なかつたのか  
お前の肌にはしみつかなかつたのか  
なんでもなくねむれたのか

頭の上でゆれた不気味な葉も  
ひび割れた木の幹も  
それでは俺だけにむごたらしいのだ  
刃のやうに 夜になると

頭の中をほじくり出しはじめた  
たがやしはじめたのかもしれない  
お前の顔のいろいろが白くひつくりかへり

暗い室の中に満ち満ちた  
精液のやうな木の芽のかをり  
お前とくちづけした時のお前の舌のかをり